



秋田県立大学

学長

こばやし

じゅん いち

小林 淳一 氏

特色を生かし、本県の課題解決へ挑戦

国内トップクラスの少人数

速させていただきます」

化を目指す。

代モーターの研究開発や地域

教育や、学生が興味ある研究

象徴的な取り組みは、ロボ

昨年1月に内閣府から計画

人材の育成を進める。

に自主的に取り組める「学習

ットやICTを活用したスマ

認定を受け、秋田大などと取

最も注目するのは、本県沖

自主研究制度」などが功を奏

ット農業の拠点となる「次世

り組んできた「小型軽量電動

が促進区域に指定される洋上

し、「力を伸ばせる大学」と

代農工連携拠点センター（仮

化システムの研究開発による

風力発電事業だ。「洋上風力

して多方面から高い評価を受

称」の開設だ。「農工連携」

産業創生」プロジェクトに

で得たエネルギーを地元にと

ける。「目指すのは、県民か

による先端技術の開発を進め

も、引き続き力を注ぐ。秋田

う還元するか、大学としても

ら信頼され、愛される大学で

ること、担い手不足やコス

大と共同運営する「電動化シ

考えていかなければなりません。水素に変換して蓄電し、

す。これまで以上に地域で存

ト削減といった本県農業の課

システム共同研究センター」（今

ん。水素に変換して蓄電し、

在感を示せるよう、挑戦を加

題解決を図り、さらなる活性

年4月設置）を拠点に、新世

周年農業などに利用できれば



AIを活用し非農業者の農業参入を促進

いいですね」と展望を語る。

は対面に戻した。安心してキ

「地域から寄せられた『や

ヤンパスで学べる環境の確保

ってほしい』というニーズに

に努め、リモートの利点を組

応えるだけでなく、大学自ら

み入れた教育も模索する。

が秋田の未来を見据え、地域

「社会のリモート化はます

と力を合わせて課題解決に向

ます進みます。そして、遠隔

かつていくことに力を入れた

でコミュニケーションを取る

いと思っています」

ためには、正確に相手の話を

コロナ禍で大学の学びは大

理解し、自分の気持ちを伝え

きく変わった。感染防止のた

る能力が何よりも重要になり

め、前期は遠隔授業を導入。

ます。大学としてさまざまな

一方で学生同士の交流は欠か

角度から学生の力を育ててい

せないとの考えに立ち、後期

きたいと考えています」



Akita Prefectural University

秋田県立大学

公立大学法人 秋田県立大学

〒010-0195 秋田市下新城野字街道端西241-438

TEL.018-872-1500

<https://www.akita-pu.ac.jp>

1999年4月1日開学

教育・研究